

下村 敦史

高 58 期

登美丘高校教員



2022年の4月に12年ぶりに教諭として母校の門をくぐりました。4月の初めの頃は、母校とはいえ10年以上経っていたので、ガラッと雰囲気が変わっていたらどうしようかと不安な気持ちはありました。しかし、登美丘高校は大きく変わることなく、全体の雰囲気は相変わらず穏やかで安心しました。校舎の外壁は綺麗に塗装されていましたが校舎の中は私が在学していた頃のまま、懐かしさを感じながら職務にあたっています。

私が高校生だった頃と今を比べると、教育課程や大学入試が大きく変わっていたり、国際社会の情勢が目まぐるしく変化したり、情報化社会が急速に発展したりしており、そのために生徒たちはしなければならないことがとて多くなっていると感じます。そんな忙しさの中にあっても、登美丘の生徒たちは皆人当たりがよく、素直な子たちです。やることが多くなり心の余裕が少なくなるような中でも生徒たちが良いままでいられるのは、先輩方が築き上げてきた登美丘高校の明るく伸び伸びとした雰囲気に生徒たちが染まっていくからだと思います。生徒たちが登美丘色に染まっていくということに対しても100年という長い歴史の力を感じます。

100年という歴史の中で私が学生として登美丘高校にお世話になったのはたった3年だけです。短い期間でしたが、その3年間を楽しく一生懸命に過ごしました。その3年間で登美丘高校の歴史の中に小さいながらも刻まれていれることを嬉しく思います。そしてこれから先は、今の登美高生やこれから入学してくる未来の登美高生たちが歴史を刻んでいき登美丘高校を発展させていくのを、教員としてお手伝いすることができれば嬉しく思います。

最後になりましたが、登美丘高校100周年、本当におめでとうございます。

■プロフィール

2010年 3月 登美丘高校卒業

2010年 4月 関西外国語大学 入学

2014年 3月 関西外国語大学 卒業

2022年 4月 大阪府立登美丘高等学校 英語科教諭として赴任